

令和元年度 学 校 評 価 書

学校目標		「子どもの未来に夢と希望を育む学校づくり」～学び合い、認め合い、高め合う学校づくりを通して～										江津市立渡津小学校	
中期目標	短期目標	成果・取組指標		自 己 評 価								関係者評価	
				保護者		地域		児童		教職員			評価
		指導の重点	評価の観点例	評価	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	達成状況		
1 確かな学力を育成する。	(1)思考力・表現力の育成を図る。	①読み書き計算の定着を図る取組を継続する。	・月1回の書き取り会・計算会の実施と個別の補充指導の時間を確保し、全員が合格点(漢字90点、計算90点)に達することができるようにする。 ・週5回以上音読に取り組ませる。	3.4	・お子様は、学習の内容がよく分かり、基礎的な学力(漢字・計算・音読)が身につけている。			3.8	・書き取り会・計算会で合格するように、くり返し練習をしましたか。	3.2	・書き取り会、計算会は事前に学級便りでお知らせするなどして家庭と連携した取り組みができた。学級ごとに実態に合わせて基礎学力を高める取り組みができ、合格点以上になるように取り組ませた。 ・書き取り会・計算会の補充指導は、業間や昼休みを使って行い、合格点に達することができた。 ・音読も計画的に宿題に出す等、取り組みの充実を図った。	B	B
		②算数科を中心とした授業改善を行う。	見通しをもち、話し合いながら根拠を基にして自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り入れる。	3.7	・子ども達は話をよく聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりしようとしていたりしている。			4.1	・自分の考えを進んで発表したり、友だちの発表を真剣に聞いたりしていますか。	3.3	・ホワイトボードを活用し、ペアやグループで話し合いをする時間を確保した。 ・前時までの学習の積み重ねをもとに、本時のめあてを提示した。また、個人→ペア→グループ→全体という流れで、自分の考えを持ったり伝えたりする活動を継続的に行った。	A	
	(2)授業や家庭における望ましい学習習慣の定着を図る。	①学習規律の定着を図る。	・学習の準備をきちんとしたり、始業時刻を守ったりすることができる。	3.3	・お子様は学習に必要な物を、忘れずに準備している。			4.3	・学習の準備をきちんとしたり、授業の始まりの時間を守ったりしていますか。	3.8	・チャイム前着席を子ども同士でよびかけることができた。6年生については中学校がノーチャイムであるので特に意識をもたせた。 ・学習規律については、入学当初からの重点的な指導、係の児童の呼び掛けなど、学級に応じて定着の工夫を計った。 ・時計の読み方の学習と合わせて取り組んだ。3学期も引き続き行い、定着を図りたい。	A	A
		②授業と家庭学習をつなぐためのきめ細かな指導を行う。	・家庭学習の手引きをもとに、学年に応じた家庭学習の時間を確保し、随時評価していく。 ・学期に2回以上、イエベン週間を実施する。	3.2	・お子様は、家庭学習の習慣が定着している。			3.7	・決められた時間いっぱい家庭学習をしていますか。	3.8	・漢字と計算の自主学習を中心に行った。他の内容や教科を工夫して学習している児童のノートを全体で紹介した。 ・定期的にイエベン週間を実施したが、イエベンカードが集まらなかったり、家庭学習の時間を伸ばすことが難しい児童もいる。 ・家庭学習の困難さが表れるようになってきた。ご家庭と相談し、内容や量などを修正しながら行っている。引き続き連携を取りながら行っていきたい。	A	
	(3)学校や家庭における読書習慣の定着を図る。	①計画的な図書館環境整備と、朝読書の充実、日常の読書活動の活性化に努める。	・週3回の朝読書(1回は地域の方による読み聞かせ)の確保に努める。 ・毎月、教科学習や行事等との関連を図った環境整備を行う。 ・1、2学期は2回以上、3学期は1回、家読週間を実施する。	2.7	・お子様は、読書を進んでいる。	4.6	・学校図書館の整備がされている。	3.9	・読書を進んでいますか。	4.0	・朝読書の確保、図書館司書との連携、定期的にか読週間の実施など、読書週間の定着に向けた取り組みを行った。朝読書以外にも、課題がはやく終わった人は読書をさせたり、宿題で20分読書をさせたりした。 ・うち読週間のやり方を工夫し、読書を楽しめるようにした。 ・図書館に足を運び、読書の時間を設けたり、読み聞かせを行ったりすることができた。	A	A
		②図書館の利用方法の学習や教科等の調べ学習等の指導の充実、環境づくりに努める。	・学級活動や国語科と関連させて、図書館利用方法についての学習を行う。 ・学校図書館活用計画を立て、意図的・計画的に学習に生かしていく。				4.0	・図書館などにある本を利用して調べ学習することは好きですか	4.1	・校内研究でも取り組み、図書館活用教育の充実を各学年の実態に応じて図ることができた。 ・情報カードや国語辞典の利用方法について学習する時間を持ったり、学習したことを実際に図書館で生かしたりする活動を行った。 ・生活単元学習などの調べ学習で利用するように心掛けた。また、司書との連携により必要な資料(読書)をすぐに用意してもらうことができ、学習にさらに活用することができた。 ・特別支援学級の合同の単元では、調べ学習をしたり、ものの形を調べて絵を描いたりするなど、図書館を活用した。	A		
学校関係者評価	考 察					評価		改善策等	・特記事項なし				
	・学校として、家庭学習や図書館活用から読書への関心を高めるのに、非常に熱心に指導されていると思います。 ・家庭でもう少し生活習慣の改善等から、学習への取り組み、読書をする環境づくりに取り組むことを期待します。					A							

評価のめやす 評価点は最高5.0 最低1.0 中央値3.0 / A:非常に良い B:良い C:まあまあ良い D:課題がある E:課題が多く速やかな改善が必要

中期目標	短期目標	成果・取組指標		自己評価								関係者評価	
				保護者		地域		児童		教職員			評価
		指導の重点	評価の観点例	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	達成状況			
2 豊かな心と健やかな体を育成する。	(1)地域の「ひと・もの・こと」を活用した、ふるさと・キャリア教育の推進を図る。	①地域に学ぶ学習活動の充実を図る。	学期に1回は、地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ学習教材の開発に努める。	3.7	学校は地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用している。	4.3	学校は地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用している。	4.1	・地域の人やものと一緒に、学習しましたか。	4.1	・主に総合的な学習、社会科で、校外での体験活動を充実させた。また、様々なゲストティーチャー（専門家や活動しておられる方など）を呼ぶなどして、開発に努めた。 ・銀杏販売の実施（職員室、授業公開日、コミセン）、たんひまカフェの開催（交流学級、読み聞かせボランティアMTG、学習発表会）により、児童同士、地域の方、保護者の方ともふれあい、児童理解につながったと思う。	A	A
		②今の学びと未来への生活の関連を意識させるなどして、子どもの自立をめざす教育を推進する。	宿泊研修、修学旅行、職場体験、野菜作り、通学合宿等を通して、社会参画の基盤づくりを行う。					4.1	・宿泊研修は今年度からの新しい取り組みとして、交流を深めるために江津中学校区3校合同（渡津小、郷田小、高角小）で行った。担任同士で打ち合わせをし、一緒に活動ができるよう、プログラムを組んだ。 ・渡津地区の探検、スーパーマーケット見学、焼き物作り、ハウス栽培見学など、市内全域を対象にして見学を行い、学習の深化充実を図った。 ・修学旅行に向けて公共施設の利用の仕方などを事前に確認することができた。また、修学旅行を通してイメージしていたことを具体的に行動に表すことができた。 ・販売活動やたんひまカフェなどの疑似体験で、職業とも関連させることができた。 ・通学合宿（4年生）は3月に実施予定。多くの児童が参加を申し込んでいる。	A			
	(2)望ましい生活習慣の確立と温かい集団づくりに努める。	①渡津小の三則など、望ましい生活習慣の形成を指導していく。	児童会に働きかけ、定期的に呼びかけや評価をしていく。	3.1	・子ども達は、挨拶や返事、早起き、くつそろえができる。	3.6	・子ども達は、挨拶や返事ができる。	4.4	・あいさつ、返事、くつそろえを意識して生活していますか。	3.4	・あいさつ、返事の声が小さい。こちらからしないといけない子が多い。 ・挨拶や靴そろえを児童会活動を中心として呼びかけていた。生徒指導担当からも適宜全体指導を行ったり、学級ごとの指導を行うなどした。 ・渡津小三則の取り組みはマンネリ化している感じもあったが、廊下歩行のペットボトルなど新しい取り組みも見られた。 ・靴そろえやあいさつ強化週間など、児童会中心の取り組みができていっているので、継続していくとよい。	B	B
		②温かい集団づくりを行うとともに、人権・同和教育を推進する。	・ふれあい給食や全校あそび、縦割り班活動などを通して、互いに認め合い、励まし合い、所属感をもてる集団づくりに努める。 ・人権集会、人権週間に取り組むなど、人権尊重の心情を育む。	3.8	・子ども達は互いに大切にしようという心が育っている。	4.2	・子ども達は互いに大切にしようという心が育っている。	4.0	・友達の良いところを見つけようとしていますか。	3.8	・毎日の掃除や登校班、全校遊びなどで、縦割りで活動することで、高学年が下学年への接し方やリーダーシップを養うことができた。が、体育館工事もあり、例年のような縦割り班活動を実施することが難しかった。運動会以降の縦割り班があまり活用されなかったのは残念である。 ・縦割り班活動が少なく、他学年と交流する機会が少なかった。不適切な言動が見られ、指導を繰り返した。 ・人権週間では、昼の放送での語りかけ、友達のいいところみつけ、人権の歌、道徳との関連など、様々な取り組みを行うことができた。	B	
	(3)体力・運動能力の向上を図る。	①・体力・運動能力の向上を図る。 ・バランスのよい食生活の実現を目指す指導をする。	・マラソンやなわとび等、全校で体力作りに取り組む。 ・給食や食の学習、「弁当の日」などの機会をとらえ、食の大切さを理解させる。	3.8	・学校は、体力づくりに取り組んでいる。	4.4	・学校は、体力づくりに取り組んでいる。	3.8	・天気の良い日は外で遊ぶようにしていますか。	3.6	・ファンランフェスティバル(11/13 江の川堤防上で実施)を励みに、3分間走等継続して頑張る姿が見られた。体育館が使えなかったが、校庭で遊ぶ児童を多く見ることができた。 ・栄養教諭による食の指導を行った(1学期)。また、保体委員会が、毎日栄養黒板を記載し給食を活用した栄養バランスの意識づけを行った。 ・学級では外遊びや給食の指導など、日々行った。 ・弁当の日は継続してきたことで定着してきて、児童の取り組みへの参加度も高まってきているように感じる。	B	B
				3.3	・お子さんは家庭でバランスのよい食事をしようとしている。			4.3	・悩みを話したり、困ったときに相談したり、助けてくれたりする友達がいますか。				
学校関係者評価	考 察			評 価		B	改善策等	・特記事項なし					
・地域の活用は、学校からの働きかけがあり、地域の方も協力されて推進できていてよい。 ・休日や下校時に、児童自らも挨拶しようとはしているが、なかなかできていない。挨拶、礼儀は家庭力なので、保護者がお手本となるよう意識して、根気強く指導を求めたい。 ・弁当の日の取り組みは定着して素晴らしい。指導重点からすると、もっと朝ごはんの内容やお弁当のバランスへの指導や取り組みを期待したい。 ・体力づくりは体育館が使えない中、外遊び、ファンランフェスティバルに向けて走るなど、頑張っていた。													

評価のめやす 評価点は最高5.0 最低1.0 中央値3.0 / A:非常に良い B:良い C:まあまあ良い D:課題がある E:課題が多く速やかな改善が必要

中期目標	短期目標	成果・取組指標		自己評価								関係者評価	
				保護者		地域		児童		教職員			評価
		指導の重点	評価の観点例	評価	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	アンケート内容	評価	達成状況		
3 信頼される学校づくりを推進する。	(1)学校安全を充実させる。	①子ども見守り隊等と連携した活動を推進する。	・夏休み前に子ども見守り隊の方との顔合わせを設定する。 ・学期始めと終わりに、登校路の安全点検と下校指導を実施する。	3.9	・子ども達は交通ルールをよく守っている。	4.4	・子ども達は交通ルールをよく守っている。	4.6	・安全に気をつけて登下校できましたか。	4.7	・街頭指導を定期的に行うことで、自分の地区担当以外の場所の様子も知ることができ、適切に指導することができた。 ・通学路の安全点検や下校指導を毎学期実施することができた。 ・見守り隊の方とは、下校時に必要に応じて連携を取り合い、情報共有することができた。	A	A
		②避難訓練や防犯教室等を計画的に実施し、危機回避能力の向上を図る。	・学期に1回の避難訓練と年1回の防犯訓練を臨場感がもてるよう工夫し実施する。	4.1	・学校は、避難訓練や防犯に対する取り組みをしている。	4.3	・学校は、避難訓練や防犯に対する取り組みをしている。	4.5	・地震や火事、不審者にあつた時、安全に避難する方法を知っていますか。	4.3	・避難訓練は短時間で効率よく行われている。児童は真剣な態度で避難訓練に臨むことができていた。 ・いざという時のために定期的に行ういろいろな訓練(4月:1年生防犯教室、全校交通安全教室、5月火災避難訓練、10月:地震津波避難訓練、2月:不審者対応避難訓練)を行うことは大切なことだと思う。 ・事前に智翠館高校の避難場所を確認したことで、落ち着いて避難することができた。	A	
	(2)開かれた学校づくりを推進する。	①学校評価項目の改善や評価システムの周知を図る。	・学校評価委員会の実施と支援委員会の実施を年3回計画的に行う。 ・学校支援委員会の効果的な実施に努める。							4.4	・評価項目の見直しは平成29年度に行い、実施方法についてはここ2年は変更なし。評価項目については校内研究との関連で、1項目削減。 ・学校評価委員会は2/18に実施、学校支援委員会は6/25、2/25の2回、合計3回計画的に実施した。	A	A
		②積極的な情報発信に努める。	・毎月の学校便りの発行、ホームページの更新をする。 ・学級便りを定期的に発行し、教育活動や児童の様子を積極的に発信する。	4.3	・学校便りや学級便り、HP等で学校の様子や方針を伝えるよう努めている。	4.7	・学校便りや学級便り、HP等で学校の様子や方針を伝えるよう努めている。			4.3	・定期的な学級だより・学校便り(観瀾)の発行、イベント毎のHPの更新など、情報発信を学校全体で心掛けている。	A	
	(3)地域の様々な組織等と連携し、教育活動の充実を図る。	①地域とともに実施する行事や学習活動、環境美化の充実に努める。	・毎学期、授業等において地域の教育資源を積極的に活用する。 ・地域の「ひと・もの・こと」の一覧表を作成する。 ・夏休み奉仕作業はもちろんのこと、6月奉仕作業にも、教職員も積極的に参加する。							4.3	・地域の教育資源が積極的に活用できている。年度末には「ひと・もの・こと」一覧表を見直す予定。(今年度使いやすいように様式を少し変えた。) ・6月の奉仕作業に地域の方、保護者の方がたくさん集まってくださり、ありがたい。教職員も全員が奉仕作業に参加した。 ・保護者の声に耳を傾けながら、教育活動に理解を得ることができた。	A	A
		②体験活動を充実させる。	地域の教育資源を活用して自然体験、社会体験等に取り組む。						4.4	・総合的な学習、社会科で校内、校外での様々な体験活動を行い、本物に触れることができた。児童が主体となることを意識した単元構成を組んだ。 ・生活科を中心に、少年自然の家、町探検、名人さんとの交流など、積極的に活動した。 ・银杏販売を通して地域の方と触れ合い、学校外でも相手意識を持って活動することができた。	A		
学校関係者評価	考 察				評価		改善策等	・特記事項なし ・避難訓練や防犯について十分にされており、今後も継続してほしい。 ・見守り隊との関りもよく、マナー、ルール等について、児童が地域の人から学べる機会となっている。 ・学校便りが回覧で回っているので、地域の方へ校内の様子がよく伝わり、開かれた学校づくりが推進されている。 ・校長先生、教頭先生をはじめ、皆さんとても感じが良く、学校へ来やすい雰囲気があり、地域の者としてはありがたいと思っています。					A

評価のめやす 評価点は最高5.0 最低1.0 中央値3.0 / A:非常に良い B:良い C:まあまあ良い D:課題がある E:課題が多く速やかな改善が必要